

連絡会議 12月13日(15時～)メディアテーク7F

新メンバー合流

サイバー大学 松本様 山元町において写真のアーカイブ活動

次回から河北新報さんも合流

1月10日(金)ゴードンさん紹介・河北新報(メディア局)

1月11日(土)シンポジウム 11時から展示開始(20世紀、東松島、河北、多賀城など)

『たがじょう見聞録』 (支援:トッパン、みちのく震録伝。。。)(柴山発表)

11月28日 減災都市宣言を行う

戦略7における伝承活動を促進(歴史など)の一環

2014年3月に見聞録のサイトを開設予定

現在準備中:写真などの収集、ヒアリング(約180名)復旧復興の記録

5万点を目標 検索エンジンつき(新たな試みとして関連項目が列挙可能)

聞き取り内容:震災前の経験(宮城県沖、チリ地震)など

どのような内容を自分の団体に採用したのか?

*多賀城の情報を募集中(著作権放棄済みのもの)

1月のシンポジウムでの発表内容確認 (坂田発表)

1年前ハーバート大学で紹介した内容の日本語版

アーカイブス活動の現場で何が?

<現状と課題>

現場で何もかもが不足(資金、人材、知識、キーパーソン、アーカイブの知識)

何が、誰が必要記録か?(活用の目的を明確に、外部が考えるコンテンツと内部の差)

権利処理問題の難しさ(現場で使えるガイドライン作成が必要、公開のタイミング)

デジタルアーカイブの文化的社会的意味に関する意識の共有
現場の活動レベルのネットワーキング共同及び国行政（上のレベルの）繋がり
の強化

アーカイブス連絡会議を儲けソフト面のサポートを行う（ハードにも反映する）、
ネットワークの促進、アーカイブセンター（中間支援組織）の必要性。。

アーカイブセンターの趣旨目的

アーキュビストの育成

地域間連携

中央と現場を繋ぐ

中間支援

どこに拠点を置くのか。。

アーカイブ活動の為のソムリエ的な存在。。

そして連絡会議の意図は？

練り直しが必要なのか？

2ヶ月に一回の開催頻度にしては？

3年目におけるアーカイブの質、利活用を考察していく

公文書はアーカイブするのか？研究用/公開用などの意味付けを考える必要

（罹災証明？プレスリリース？）個人情報公開の問題

アナログアーカイブ施設を大本にデジタルアーカイブを併設する？（トッパン）

スペースレンタル運営など

コーディネーターが必要（多賀城）

次回：1月10日（金）15時～開始